

市政に 対する 一般質問

〓〓〓8名の議員が質問〓〓〓

6月定例会の一般質問は、6月25日及び26日の2日間にわたり行われました。なお、6月定例会から試行的に質問順は一括質問一括答弁方式と一問一答方式に分けず、抽選順となっております。質問の要旨は次のとおりです。

大野 栄光 18歳未満児童の健康診断を (一問一答方式)

沼倉 昭仁 白石市の「放射能対策」について (一問一答方式)

佐久間儀郎 空き家等の適正管理について (一括質問一括答弁)

伊藤 勝美 除染実施計画について他 (一問一答方式)

水落 孝子 放射性物質汚染による課題について (一問一答方式)

山田 裕一 福島第一原発事故に伴う内部被曝検査機関の公表と費用の一部負担について (一問一答方式)

管野 恭子 小・中学校の脊柱側弯症検査への「モアレ検査」の導入について他 (一問一答方式)

四竈 英夫 体育授業に取り入れる武道について 他 (一括質問一括答弁)

18歳未満児童の健康診断を

大野 栄光



〔質問〕当市の放射線量で我々は安心なのか。

子育て中の若いお母さんは食材を選ぶにしても遠くの産地の物で自己防衛し子どもを守っている。丸森町は甲状腺検査、国見町は積算線量計による外部被曝線量測定・内部被曝検査を行っている。

当市も早期に健康診断を行うべきでないか。

〔答弁〕〔市長〕県の有識者会議の結果や医学的見地から健康への悪影響は考えられず、本市独自の健康調査を実施する考えはない。

〔質問〕平地での放射線量と当市は地形上盆地となっているが、越

河の五賀及び西在地区、大鷹沢唐竹地区、白川家老沢地区、小原地区

と住民が住んでいる所によって線量値にだいぶ違いがあり、他にも暮らしている所で不安はあると思うが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕ポイントをしっかり把握し、人の住んでいる所は安全であると認識している。

〔質問〕当市の住民は山間部に多く住んでいる。

県の有識者会議の方々が住民の健康を判断してくれるのか。沿岸部においては津波によって被災され、内部被曝線量が低く、放射線汚染という捉え方は一線を画したような考えではないのか。

当市の18歳未満児童の子育てに一生懸命の方々への健康への配慮というものが考えられないのか。

〔答弁〕〔市長〕国が健康診断に関して基準を示していないため、市

独自の健康調査をする考えはない。

〔質問〕4年前、市長は命と暮らしを守ってもらうべく圧倒的多数で再選された。国・県からの指導などと言わず、市民サイドに軸足を置き、甲状腺・内・外部被曝検査等を行い、不安を払拭し、安心して市民生活を送れるような環境を作っていたきたい。

〔答弁〕〔市長〕環境大臣の許可があり除染を進めている。子どもたちに対する放射線の影響を少しでも緩和しようとしている所である。

〔質問〕原発事故以来多くの同僚議員が子どもの健康を危惧している。「安全だから大丈夫だ」と言う市長の声に違和感を覚える。市独自の健康診断を重ねてお願いをする。

〔答弁〕〔市長〕線量を下げると除染を行い、健康調査についての要望は、国に伝えている。